

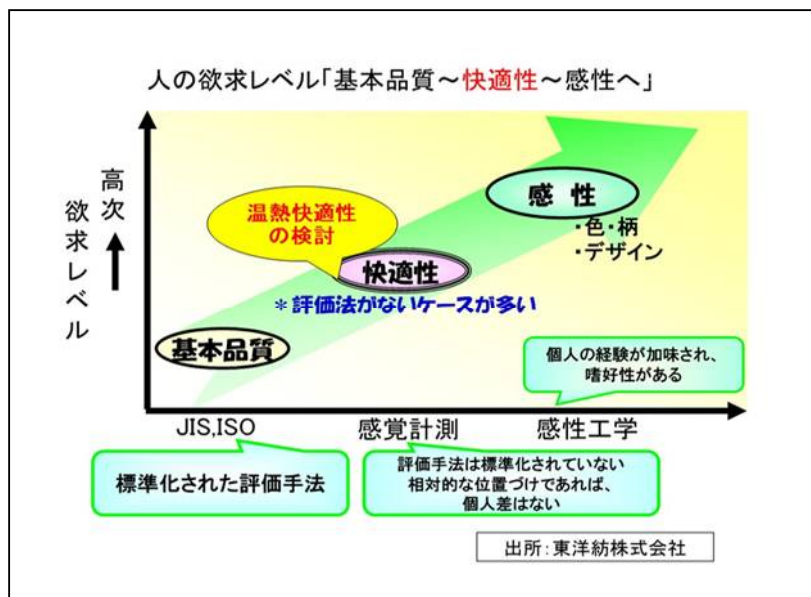
遠赤外線機能による繊維製品の温熱快適性向上に関する戦略策定（継続）

（一財）機械システム振興協会

委託先：（一社）遠赤外線協会

【事業の目的】

寝具や防寒衣料などにおいては、セラミックス材料などを練り込んだ繊維を用いることにより、遠赤外線放射による保温効果によって温熱快適性を高め、製品差別化を図ることが重要ですが、その効果を消費者に PR するためには、科学的な根拠が必要です。



空気層を多く有する寝具や防寒衣料などについては、これまで遠赤外線放射性能の標準的な測定手法が定まっていなかったため、本事業においては、この標準化の案を検討するとともに、繊維製品の温熱快適性向上の戦略を策定します。

【事業の概要】

①対象とする技術

伝熱や対流の効果を遮断して、空気層を多く含む寝具や衣料の遠赤外線放射を測定する技術を対象にします。具体的には、昨年度に製品サンプルを全周囲から温める恒温容器を作製したのに続き、今年度は、これを用いた標準案と認定基準案を開発します。

②主な参加者

学識経験者、関係企業（寝具や繊維メーカ）、測定機関などが参加します。

③実施の概要とポイント

- ・ 空気層を多く含む寝具・衣料や原綿・糸の数多くのサンプル（販売中、開発中のもの）からの遠赤外線を測定し、測定方法を改良して標準案を開発します。
- ・ 上記測定とともに、繊維製品からの遠赤外線の人体を温める効果を測定し、認定の自主基準案を検討します。
- ・ 温熱快適性に関する市場、技術、ニーズを調査・分析し、遠赤外線放射測定や認定基準を用いながら、繊維産業が如何に温熱快適性を向上させて高付加価値化を図るかのイノベーション戦略を策定します。